

文京区

町会ってなんだらう?どんな活動してるの?あらぶんちよ地区の町会長にお聞きします

あらぶんちよ町会見聞録

第28回



町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!

写真・田尻陽子 取材、文・高橋瑞穂 (六歳)



「根津・千駄木下町まつり」は、根津・千駄木地区が交代制で委員長を担当。

安心な地域づくりのために
大事にしたいのは
顔を合わせた付き合い

町会だけに留まらない、垣根を越えた活動も活発に

上千駄木町会 会長 長谷川 隆さん



●上千駄木町会

上千駄木町会の沿革は明治時代に睦会が結成した時期にまで遡る。その後、上千駄木上町会(千駄木1～59番地)の発足と解散を経て、1955年に七曜婦人会と睦会が合併し、上千駄木町会が発足した。会員数は約700世帯。

歴史と文学を肌で感じる
緑豊かな住宅街

町会長になったのは10年前。60歳で会社を退職したことを機に、地域に根差したお手伝いのできたら、と声をかけたのがきっかけです。この辺りは都心にありながら歴史が古く、緑豊かな住宅地が魅力です。森鷗外記念館をはじめ、日本医科大学同窓会の会館前には夏目漱石旧居跡があり、文学の薫りが漂っています。最近空き家だった場所に新しい住宅が建ち始めました。かつての商店街はなくなっ

住民同士が友達になることが
町会活動の第一歩!

町会で一番力を入れていることは、近隣住民の方々お互いの顔を知ってもらうことです。住民同士に「友達になつてもらう」「顔を知ってもらおう」というのをキーワードに掲げて活動しています。直接顔を合わせることでインターネットやSNSでは知り得ない豊富な情報を交換できますし、災害時の安心感にも繋がります。そのため、新しい住民方も気兼ねなく参加できるようなイベントを積極的に行って来しました。根津神社で行う例大祭・祭礼やつつじまつり、根津・千駄木下町まつり、また、夜警、小学校との合同行事など、子どもたちも参加しやすい環境で行っています。なかでも、森鷗外記念館で行う「子どもフェスタ」は親子連れに人気です。参加してくださった人たちがひとりでも多く、町会のファンになってくれたら嬉しいです。



夏に森鷗外記念館で開かれる「子どもフェスタ」。記念館はかせツアーや紙芝居などが行われ、子どもたちに大好評。

常時でなくてもOK
若い世代にも声がけを

役員の高齢化が進み、課題となっているのは人材育成です。常時活動している役員は10名ほどですが、ひとり何役も受け持つことが少なくありません。そのため、働いている方にも、仕事の合間や夜など、可能なタイミングで手伝ってもらえるようお声がけしています。最近では手伝ってくださる若い方が増えてきていて、助かっています。また、私と同様、定年退職のようないきなり役員に誘われることがあれば、役員みんなで周囲にアンテナを張ってます(笑)。活動としては、自分たちの町会だけにこだわらず、近隣の町会と共に関心活動や企画したり、青少年健全育成会をサポートするなど、町会や団体などの垣根を越えて、みんなで協力することで、より良い町会を目指していきたいです。



町会員が作成したポスター。働く世代の方にも、得意な分野を活かして活動をサポートしてもらっている。



助成金を使い、全8力所中6力所は
アクリルの窓付きの掲示板になった。

若い世代と交流しながら 恒例行事を推進し 人手不足も解消

助成金や人材力で、町会費を節制しながら運営

東青柳町会 会長 諸留 和夫さん

**3路線利用でき便利
穏やかな気風の住宅街**

この辺りは、ほとんどが住宅で、東京メトロ丸の内線と有楽町線が近く、自転車でJR大塚駅まで行けるので便利です。私は近くに会社の社宅があり住み始めましたが、この地域が気に入って家を建て、40年以上住んでいます。会社を退職した22年前から町会長になりました。その頃は、自分の子どもが中学校に通っていたので、PTA会長も同時に引き受けました。お茶の水大学の西門前に町会の倉庫があり、そこに神輿や山車、餅つきの道具、防災用のリヤカーなどを収めています。マンションも増え、昔ながらの近所付き合いは薄れてきましたが、住民は穏やかな方々が多いですね。



●東青柳町会

1949年に発足した、大塚2丁目及び音羽2丁目にある、約400世帯からなる町会。東青柳というのは、江戸時代の奥女中の名に由来。町内エリアに隣接するかたちでお茶の水女子大学が校舎を構え、不忍通り沿いには、住宅や高層マンションが増えてきている。



餅つきには、「りこボラ!」の学生たち約10名が手伝いに。若い世代のパワーが町会活動に役立っている。

大学生のボランティア団体が
楽しみながら行事をサポート

特に力を入れている行事は、12月に行う「餅つき」と夏に行う「今宮神社例大祭」です。餅つきは、私が町会長になってから始めました。最初は杵や臼などの道具一式を春日二丁目町会から借りていましたが、その後毎年少しずつ買い揃えました。最近は町会役員の高齢化が進んでいます。昨年から中央大学理工学部ボランティア団体「りこボラ!」の学生さんたちが来てくれ、大変助かっています。神輿や山車を倉庫から出したり、焼きそばを作ったり、力仕事を率先して手伝ってくれるだけでなく、若い方たちが積極的に参加することで活気が生まれるのも嬉しいですね。お餅つきを初めて体験する学生さんも多く、教えてあげられることも喜びます。若いうちに新しい体験をしてもらう良い機会にもなっているかと思っています。



例大祭時に町会で行う縁日は、チケット前売り制。200円のチケットで焼きそば、フランクフルト、かき氷などがもらえる。

大きな変化を求めず
明るい今を維持したい

町会の幹事は15名いて、担当する世帯へ区報やぶんきょう区議会だより、社会福祉協議会だよりなどの配布をしてくれています。その他日本赤十字社や歳末たすけあい運動の募金の声かけなども担っています。町会の告知には掲示板を利用。区の補助金をいただき、画びょうで貼る旧式から、少しずつ窓付きのタイプに新調したことで、貼り紙が雨風で外れたり、中途半端に剥がれて宙ぶらりんとなるようなことがなくなりました。活動をする上で、人手不足や高齢化の悩みはありますが、最近引越してきた2家族が、町会長宅へ挨拶に来てくれるという嬉しい出来事もありました。昔ながらの近所付き合いもまだ完全にはなくなっていないかもしれせんね。大きな変化を求めず、明るく楽しい町会を維持していきたいです。

“スマホ入門講座”を定期的を開催しております

現在弊社ではご加入者様限定の「初心者のためのスマホ入門講座」を開催しております。2014年9月の初回からこれまで113回の講座を開催し、約1,500名のお客様にご参加いただきました。当講座では、スマートフォンを全くさわったことがない方向けに電源の入れ方・タッチ操作などの基礎から始め、講座の後半では翻訳アプリやQRコードの使い方なども体験して学んでいただけます。また、講座の最後にはお楽しみ抽選会や相談会も実施しております。

スマートフォンに買い替えをお考えの方、使い方がよくわからなくて困っている方、もっと使いこなしたい方など、ご家族やご友人をお誘い合わせの上、お気軽にお申込みください。



※開催情報は、TCN ホームページにてご案内しております。



白山通り沿いにある樋口一葉の碑には、一葉日記が刻まれている。

お互いの顔が見える 安心なまち作りのため 住民同士をつなげる橋渡し

コロナ禍の自粛期間を逆手に取り、町会の機能性をUP

丸山福山町町会長 柴崎 金成さん

丸山福山町と言えば、樋口一葉が有名です。かつてこの町内に家があり、『たけくらべ』『にぎりえ』などの名作小説を世に残したとされています。それを記念し、初代町会長である笹田誠一氏が、「一葉終焉の地の碑」を建設しました。毎年、11月23日の命日には町会の役員で掃除をして花を供えています。この周辺は、私が子どもの頃は、工務店や床屋などの自営業の店が多く立ち並んでいましたが、今は会社勤めの方が中心です。町会の自慢だった銭湯も、残念ながら一昨年廃業してしまいました。住民が集う場所が減った今、町会が人と人をつなぐ場にならなければと強く感じています。

樋口一葉が住んでいた 歴史のあるまち



●丸山福山町町会

明治時代にこの辺り一帯が丸山と呼ばれていたことに加え、備後福山藩主阿部候の中屋敷があったことから丸山福山町と名付けられた。町会は1955年4月に発足し、現在の会員は230世帯。柴崎さんは8代目町会長を務めている。



一年かけて修理し、新品同様の姿になった町会神輿。

コロナ禍の自粛期間を利用し 神輿や掲示板を修復

7年前に町会長に就任しました。その2年後にコロナが流行り、毎年実施していた祭礼や町会のイベントもすべて中止に。そこで、自治総合センターの「一般コミュニティ助成事業補助金」に申し込み、250万円の助成金を受けて町会神輿の修繕を行いました。解体修理に、約1年間の歳月がかかったため、このタイミングでなかったらお願いできなかったと思います。申請が見事通ったこともラッキーでした。50年前に作られた神輿が、新品同様の姿で戻ってきたので、住民の皆さんが喜んでくれました。さらに、文京区の補助金を利用して、掲示板を建て替えました。1年分の補助金をほぼ全額掲示板1台分に充て、3年間で3台新調しました。表立ったイベントはできないコロナ禍でも、町会のためになる活動ができて良かったです。



夏に行われる「子どもひろば」では、昔ながらの遊びが人気を集めた。

楽しいイベントを継続し 治安のよいまちを目指す

私が子どもの頃から変わらず町会で行っているイベントが「餅つき」と「秋の味覚まつり」です。どちらも町会員限定にはしておらず、どなたでも大歓迎という方針で実施しています。というのも、特に小学生は町会ごとで仲良くなっている訳ではないので、来てくれたみなさんに楽しんでもらいたいとの思いがあるからです。昨年の「秋の味覚まつり」では、250尾のサンマを備長炭で焼いて食べていただきました。他に、小学生には「子どもひろば」というイベントが毎年好評です。町会としては、治安が良いまちを作るとするのが一番大事なことだと思っています。防犯カメラ設置やパトロールもしています。それに加えてイベントを通して顔を合わせることが重要です。誰が住んでいるのかお互いにわかる、意思疎通しやすいまちにしていきたいですね。

TCN 公式 LINE、始めました！

この度、TCN の LINE 公式アカウントを開設しました。
たくさんの友だち登録をお待ちしています♪

友だち登録をしていただくと…

サービス・お得な
キャンペーンなどの
最新情報が届く！

ご利用中のサービス
のお困りごとを
簡単検索！

LINE 友だち限定の
プレゼントに
応募できる♪



▼友だち追加方法▼

①スマートフォン等からLINEアプリで
下記二次元コードを読み込む



または LINE アプリで
【東京ケーブルネットワーク (TCN)】
[@tokyocablenetwork] と検索

②「友だち追加」 ボタンを押して完了！